

平成30年度行政評価 事務事業評価シート(平成29年度実績)

事務事業コード	030301100	予算コード	01081570	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	養育支援訪問事業			正規職員数 0.3	国庫支出金 38	有効性	B	支援員の体制については、現在20名。適切な相談や助言・指導ができるよう支援員のスキルアップ研修を年2回実施することで、養育支援訪問事業の充実を進める。	
担当課	子育て支援課			嘱託職員数 0	府支出金 52				
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数 0	市債 0	効率性	C		
	■法律・政令・省令 ■要綱・要領			歳出(千円)	その他 0	妥当性	B		
	児童福祉法第6条の3第5項			人件費総額 2,468	一般財源 2,515				
	泉佐野市養育支援訪問事業実施要綱				減価償却費 0	受益者負担	該当なし		
					事業費 137				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	2,605	緊急性	C	事務事業実施内容	
実施手法	全部委託			市民1人当たりコスト(円)	26			支援が必要な家庭に適切な支援を行い、育児不安の解消、妊娠出産時の負担軽減等につながった。	
対象				活動指標	H29実績	公的関与	A		
特定の市民	対象数			専門的な相談員による訪問件数	13.0				
若年の妊婦及び妊婦健康診査未受診者、不適切な養育状態にある家庭				その他相談員による訪問件数	23.0	実施主体・委託化	B		
事業の内容									
乳児家庭全戸訪問事業の実施その他により把握した保護者の、養育に関する支援が特に必要と判断した家庭等に継続して訪問し、養育に関する相談、指導、助言等その他必要な支援を行う。						他の事務事業との関連	C		
				成果指標	H29実績	透明性	C		
				専門的な相談員による訪問件数	13.0				
				その他相談員による訪問件数	23.0	財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	H29実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
				訪問1件あたりの事業費	72,361.1				
事業の目的									
家庭を訪問し、養育に関する指導、助言等を行うことにより、適切な養育が行えるようにすることを目的としている。									